

評価年度

令和 4 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町文化交流センター
指定管理者名	利府みらいクリエイティブ（代表企業：丸善雄松堂株式会社、構成企業：アクティオ株式会社、株式会社東急コミュニティー）
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	利府町文化交流センター条例(令和元年条例第24号)
施設の設置目的	町民の文化芸術活動及び交流の場を提供するとともに、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって町民の教育と文化の発展及び福祉の増進に寄与すること。
施設概要	場 所 : 利府町森郷字新椎の木前31番地1 敷地面積 : 22,403.61㎡ 建物概要 : 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階一部3階建て、地下なし 建築面積 3,869.41㎡ 延床面積 5,308.01㎡ 駐車場 約380台（内おもしろい駐車場6台） 駐輪場 約70台（37.11㎡） 主な施設 : 利府町図書館 1,206.05㎡ 利府町公民館 556.30㎡ 利府町文化会館 3545.66㎡（共用部分含む）
施設所管課	利府町教育委員会 教育部 生涯学習課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数合計(人)	144,663	230,333			
利用料金収入合計(円)	8,671,450	14,178,350			

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数の増加(人)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で来館者数を147,000人以上とし、次年度から令和7年度まで来館者数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに155,000人以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)	110,250	148,000	149,000	150,000	151,000
実績値(人)	144,663	230,333			
達成度(%)	131%	156%	0%	0%	0

指標 2

指標名(単位)	利用登録団体数の増加 (団体)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で利用登録団体数を143団体以上とし、次年度から令和7年度までに団体数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに158団体以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(団体)	143	145	147	149	151
実績値(団体)	429	405			
達成度(%)	300%	279%	0%	0%	0

指標 3

指標名(単位)	年間貸出冊数 (冊)
指標式と指標の説明	利府町総合計画「生涯学習の推進」における指標として、令和7年度までに、町民ひとり当たりの図書の年間貸出冊数を8.5冊以上という目標を掲げている。 なお、総合計画において令和12年度までには12冊以上とする目標を掲げている。 しかし、上記は人口変動の影響を受けるため、指定管理者の評価には貸出冊数を目標値とし、令和7年度まで増加を図るものとする。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)	208,000	249,800	274,800	302,200	332,500
実績値(冊)	194,856	285,718			
達成度(%)	94%	114%	0%	0%	0

評価 (5段階)	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「183%」となるため、「S評価」となる。 いずれの指標も目標値を大幅に超えて達成しており、想定以上の利用状況であることが伺える結果となっている。

懇話会意見	実績値がいずれも素晴らしい。 目標値について、町総合計画との兼ね合いもあるかと思うが、評価に関しては年度ごとに見直してもよいのではないかと。
-------	---

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業（全26事業より抜粋）

① 図書館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
おはなし会	毎週水曜1回 隔週土曜1回	定例おはなし会の他、パネルシアターを用いた特別おはなし会や、英語のおはなし会、デジタル絵本のおはなし会を実施した。
図書館ツアー	都度	ツアー形式で図書館内を職員が案内。希望があれば随時開催することを基本に、開館記念月である7月は一般募集を行い実施。学校関係や他図書館、自治体などの見学もあり。
リサイクルブックフェア	4・10月2回	図書館内の除籍資料が少なくなったことから、利用者からも寄贈資料を募集した。大型イベントとの抱き合わせではなく初の単独開催も行う。
ボランティア養成講座	6・1月2回	ボランティアの方々への研修会実施の他、ボランティア交流会も実施。ボランティア同士の情報交流の場となり、加えて図書館運営に対する意見もいただいた。
出張おはなし会	1・2月2回	おはなし会のみならず、参加者へ図書館利用方法や育児支援コーナーをPR。今後も出張おはなし会を希望する声をいただき、地域連携の足掛かりを作ることができた。

② 公民館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
利府の魅力再発見	6月・7月	利府町の郷土史を学び、近隣市町との交流や町内外へ利府は歴史深い町だと発信することを目指す。文化庁より有識者を招聘した講演では町内外から広く参加者を集めた。
大人のものづくり	5月・2月	利府町在住の講師による講座や利府町産のみつろうや施設で育てたカレンデュラ(花)を用いた精油作りを行い、地域愛や施設への愛着を深める内容とした。
こどもの歌声教室	6月～3月	こどもたちに芸術文化に接する機会を多く提供することを目指す。小学生を対象に文化祭やプロの音楽家との共演を経験する中で、歌うことの楽しさやチームワークの素晴らしさを体感する内容とした。
健康教室	5月・9月	高齢者が健康でいきいき長生きできる生活のヒントを提供を目指す。町所管課との共催により、医師の健康講演による知識の涵養や若返りリトミックという新しい手法で楽しく学ぶ内容とした。
利府町文化祭	10月	地域文化の重要性を認識し、芸術文化への関心を高め、「いきいき学び、心豊かな人をはぐむ町づくり」を一層推進する地域住民の交流と親睦の祭典を目指す。

③ 文化会館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
エントランスコンサート	4月・6月・ 8月・10月・ 12月・2月	年6回実施。エントランスホールの開放的な空間で来館者に広く楽しんでいただく無料イベントとする。リフスイルミネーション点灯事業募金箱を設置し、イルミネーション事業への理解を図る。
伝統の迫力「利府」を感じる！利府太鼓と篠笛狩野泰一のコラボレーションコンサート	3月	利府太鼓演奏者6人と狩野泰一氏の篠笛とのコラボレーション。座席販売数242枚。当日は229人（大人203人、子ども26人）の観覧があった。
「松下敏幸ヴァイオリンレクチャー＆コンサート」	3月	世界的ヴァイオリン製作者である松下敏幸氏をお招きし、伝統文化の重要性や芸術について講演いただき、著名なヴァイオリニストによる調律後の比較演奏や松下氏製作のヴァイオリン等による演奏会の2部制で実施。

ドラムCafé	1月	無料参加型のイベントで演者と一体感をもち、音楽に親しみ、コロナ禍の鬱蒼とした気持ちを吹き飛ばし、心の豊かさや元気を増すことを目的として実施した。
目指せ未来の〇〇企画	12月～3月	少年期住民参画組織養成講座として、参加することもたちの将来の夢や選択肢を拡げることを目的とする。アナウンサー編と舞台芸術家編の2編にて、プロの指導により朗読や照明演出等の成果発表会を実施した。

(2)提案事業（全30事業より抜粋）

主な事業名	実施時期	内容
「リフノス」利府町図書館 YA代表委員会	通年 (1クール)	参加者にはYA向けブックリストの制作、図書館だより『トショノス』への出稿、事業への協力など幅広く活動してもらい、その結果YA資料の貸出が大幅に増加した。
図書館に泊まろう	6月 1回	昨年度の反響を受け募集方法を抽選に変更。倍率は5.0倍となった。夜の図書館に宿泊するという得がたい読書体験と、同年代の仲間づくりの機会を提供できた。
みんなの食堂「もちつき」 「新春もちつき会&赤ちゃんハイ ハイレース利府町長杯inリフノス」	1月	地域住民の参加により地域の食材を使用し多世代交流を目的とする。一生餅を賞品とした赤ちゃんハイハイレースを実施することによって、家族の繋がりや子育てに温かい地域づくりをPRし、NHK等報道機関に広く取り上げられた。
目指せ！未来の演奏家	11月・12月	仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏者によるイベント。将来音楽家を目指す子どもたちを育成することや芸術家に親しむことで芸術文化への理解を深める。
リフノス伝統音楽・文化体験チャ レンジ リフノス1周年記念事業	7月	文化庁助成金を活用し、伝統音楽・文化を楽しみ体験させることで、伝承すべき伝統音楽・文化の継続した学びの機会の提供と担い手づくりを目的とする。7月開催として1周年記念事業をかね、公演と体験会の2部制で実施した。

(3)自主事業（全2事業）

主な事業名	実施時期	内容
イザ！カエルキャラバン！	11月	子どもを中心に楽しみながらしっかり学べるNPO法人プラス・アーツの防災プログラムにより、防災の教訓や知恵を次世代へ伝える。運営ボランティアや参加者を広く募り、多世代に派生させるイベントとして実施した。
カフェレストラン・アリーノ	通年	営業日数215日。定休日及び臨時休館時以外はすべて営業

評価（5段階）	評価理由
A	事業実施状況に対する実績点の割合は「112%」となるため、「A評価」となる。 前年度と比較し、実施事業数は指定事業で6、提案事業では8増となっており、公民館教室参加者は673人増、おはなし会参加者281人増となっている。 図書館事業については、事業の実施が図書館利用促進につながっている。文化会館事業については、チケット販売状況が座席数の9割を超える事業が複数あり、効果的な事業アピールを行った結果と思われる。様々な団体と連携した事業を展開しているところがよい。

懇話会意見	文化会館事業は目立つ事業であり、集客も多く賑わいの創出につながっている。 指定管理2年目で、まだ生涯学習の種まきの時期と思われるが、「公民館」としての事業を着実に実施しており、評価できる。
-------	---

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	施設利用者アンケート調査の実施 / 人
目標値の基準	施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、設問「施設の設備・サービスについて満足しているか」総回答に対する「満足している」「どちらかという満足している」と回答した割合の小数点以下第2位を四捨五入した数値を実績値とする。 (目標値80%は募集時の提案書記載の数値)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	80%	80%	80%	80%	80%
実績値(%)	75%	84%			
達成度(%)	93%	105%	0%	0%	0

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
事業ごとアンケート	都度	各館、事業の参加者にアンケートをお配りし、率直な感想をいただいている。集計結果を職員で共有し、次年度の事業内容や日々の運営に反映させている。
お客様の声	都度	総合受付に「お客様の声」ボックスを設置。いただいたご意見やご要望は施設全体に共有している。
Webサイトからのお問い合わせ	都度	施設Webサイトのお問い合わせメールフォームから随時お問い合わせを受け付け、担当者より回答を差し上げている。

評価(5段階)	評価理由
A	今回実績は、指定管理者において実施した令和4年12月アンケート調査の結果を反映している。リフノスのほか、役場(交流館)、保健福祉センター、Webでも回答が可能な形で実施している。

懇話会意見	アンケートの取り方について、実施時期・期間など、より多くの回答が得られるように努めてほしい。
-------	--

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	令和3年度決算	令和4年度決算	
収入 (a)	241,360	246,067	
指定管理料	231,000	225,835	
利用料金収入	8,498	14,178	
(うち、減免補填額)	(2,285)	(2,888)	
事業収入	1,428	4,532	
その他の収入	434	1,522	
支出 (b)	234,020	233,470	
人件費	111,503	110,358	
事務事業費	61,611	60,125	
維持管理費	60,731	62,869	
その他の支出	175	118	
収支 (a)-(b)	7,340	12,597	
備考	光熱水費の実績 15,174,452円	光熱水費の実績 22,375,239円	

※ 光熱水費については、収支のほかに指定管理者が立て替え払いしたのち、町で補填している。

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	提出された最新決算書からは、指定管理者である利府みらいクリエイティブの経営母体である各社の財務状況に支障は認められない。また、各社の自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率について、いずれも好転の状況がみられる。
------	---

評価 (5段階)	評価理由
S	総収支が黒字、指定管理料以外の独自収入は20,232千円で、総収入の8.22%にあたる。通年開館したことにより、利用料金収入が大幅に増えている。補助金申請や協賛金の獲得など、独自財源の確保に努め、追加事業の実施を実現している。

懇話会意見	独自財源の確保に努めており、還元事業も計画されていてよい傾向である。
-------	------------------------------------

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町教育部生涯学習課職員が、現地調査による資料や施設を確認し、実施した。 また、詳細確認は指定管理者へのヒアリングを実施した。
実施時期	令和4年7月、11月、令和5年1月、4月 (年1回以上実施)

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	2年目ということもあり、既に体制が整ったことによる評価となった。 現金管理上の問題はなかったものの、料金設定に関する認識の誤りから、過徴収が発生してしまっ。判明後は速やかに返還の対応をしている。既定の業務は支障なく実施されているが、点検項目や実施方法が適正であるかは適宜見直しを検討されたい。

懇話会意見	特になし。
-------	-------

8. 指定管理者の自己評価

自己評価点数	昨年同様、コロナ禍の中での運営となったが、年間来館者数他すべての目標が達成できた。職員一同の衛生管理などの徹底により、クラスターを起こさず、事業においても事故なく安全に実施することができた。
85	
自己総合評価	
S	

9. 最終評価

総合点数	開館2年目で、臨時休館もなく、初の通年開館ができたこと、ほぼ全ての事業が予定通りに実施できたことにより、成果指標の達成状況、事業の実施状況、経営状況いずれも高い評価となった。 引き続き、施設の設置目的の達成に向けた施設の管理運営に努めていただきたい。
85	
最終評価	
S	

懇話会意見	<p>管理運営状況の実績から、最高評価になることも妥当であると考えます。</p> <p>町内外問わず、利用者には概ね好評であり、外部団体との連携やアイデアに富んだ各種事業は魅力がある。カルチャーセンター化しない運営に好感がもてる。</p> <p>好調な状況を今後も継続するためには、常に新規の利用者に向けたアピールが必要と思うが、「すべての人に生涯学習の機会を」という観点から、もっと利用しやすい管理運営を施設でも検討し、実施してほしい。</p>
-------	---